

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者地域活動支援事業		事業期間	平成 28年度～平成 29年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の地域活動を促進するため、雇用されることが困難な障がい者への創作的活動及び生産活動の機会の提供や、意思疎通支援者の派遣、スポーツ大会の開催などの事業を実施します。 ・地域活動支援センター事業（型） ・意思疎通支援事業（意思疎通支援者派遣及び養成事業等） ・障がい者社会参加促進事業（身体障害者スポーツ大会の開催等）		
30年度概要	地域活動支援センター（1型及び3型） 意思疎通支援 障がい者社会参加促進		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市在住の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の自立した日常生活又は社会生活を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
地域活動支援センター 型事業所の開所日数	日			2,071	2,000	2,071

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	利用人数	人	目標値		18,000	18,000	18,000	17,657
			実績値		18,788	18,926		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を概ね達成している。 (目標達成度)							(達成度) 105.1% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	111,503	109,264	90,676	90,676
（事業費）	[円]	103,826	101,413	83,089	83,089
（職員人件費）	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律において、地域生活支援事業の必須事業として位置づけられており、今後も継続して実施していく

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

改革案なし

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者福祉タクシー事業		事業期間	平成28年度～平成29年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の社会活動の範囲を広げ、社会参加を促進するため、タクシー料金の一部助成を行います。		
30年度概要	障害者福祉タクシー助成券の交付。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	身体障害者・療育・精神障害者保健福祉手帳の重度・最重度等級所持者、身体障害者手帳を所持する、補装具・介護保険等による車いす・電動車いす利用者（18歳以上の場合は、本人と配偶者が市民税非課税であること）
意図(どのような状態にしたいか)	障がい者の社会活動の範囲を広げ、もって障害者の福祉の増進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
タクシー助成券交付者数	人			3,850	4,000	3,905

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	タクシー助成券使用率	%	目標値		50	50	50	51.11
			実績値		51.11	50.25		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 概ね目標値を達した。 (目標達成度)							(達成度) 100.5% 35点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	47,297	46,118	44,181	44,181
(事業費)	[円]	39,620	38,267	36,594	36,594
(職員人件費)	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

障がいを持つ市民に対する負担軽減の一部であるが、更に効果的な方策を検討する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

包括外部監査結果報告においての指摘事項・意見をもとに、所得制限の導入等の改正案を作成し、政策会議等に諮った上で、平成26年度から制度改正を行った。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者社会活動支援事業		事業期間	平成 28年度～平成 29年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者（児）の社会参加を促進し、交流や親睦を深めることで福祉の向上を図るため、障がい者（児）団体等に対し、支援を行います。		
30年度概要	障がい者（児）団体等への支援		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市在住の障がい者。
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者（児）の社会参加を促し、交流や親睦を深める事で福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付件数	件			16	16	16

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
障害者社会見学事業における参加者数	人	目標値		1,300	1,300	1,300	1,000
		実績値		505	800		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 社会見学事業の参加者数は目標値に到達しなかった。 (目標達成度)						(達成度) 61.5% 21点	
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,558	16,964	16,468	16,468
（事業費）	[円]	7,346	7,543	7,364	7,364
（職員人件費）	[円]	9,212	9,421	9,104	9,104

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
障がいを持つ市民の社会活動参加や福祉の増進に繋がる事業への効果的な後押し方法を検討する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
高松市障害者を守る会について、事務局の運営方法の検討が必要である。			

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	福祉のまちづくり推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 29年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の社会活動への参加を促進するため、香川県福祉のまちづくり条例に基づき、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるよう、公共的建築物等の福祉的環境整備を行います。		
30年度概要	特定施設新築等届出書の受付審査		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市内に特定施設を整備する人
意図(どのような状態にしたいか)	公共的建築物等の福祉環境の整備を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
特定施設新築等届出書等の審査件数	件			78	80	80

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	特定施設整備主に対する指導および助言数	件	目標値		55	80	80	80
			実績値		65	78		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 届出件数は、特定施設の建築数に左右され、予想がつきにくいことから、これまでの実績に基づき、毎年度約80件前後の届出であると想定している。			(達成度) 97.5% 34点				
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 届出に係る指導及び助言書は届出件数と同数であることから、毎年度約80件前後の届出であると想定している。			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(決算)	平成 30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	798	815	789	789
(事業費)	[千円]	30	30	30	30
(職員人件費)	[千円]	768	785	759	759

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
まちづくり条例に係る事務のうち、建築物等の新築等の届出に係るものについて、地方自治法第252条の17の2の規定により、市長との協議を経て、当該事務の権限を移譲されており、改革の裁量は少ない。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
改革案なし			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者アートリンク事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	芸術活動を通じて障がい者の感性・創造力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが、長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにする創作活動を支援します。
-------	--

30年度概要	派遣先事業所 10か所 報告展：年1回開催 報告書作成：年1回 非常勤嘱託 1名雇用
--------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	障がい者（児）
意図（どのような状態にしたいか）	芸術活動を通じた障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
アートリンク実施事業所数	事業所		9	10	10	10

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
アートリンクに参加した障がい者（児）延べ人数	人	目標値		2,100	2,200	2,200	2,200
		実績値		4,015	4,721		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成29年度は、目標どおり達成できた。							(達成度) 214.6% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
		実績値					
							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	17,353	23,205	20,128	20,147
（事業費）	[千円]	13,514	15,354	12,541	12,560
（職員人件費）	[千円]	3,839	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

障がい者の社会参加の促進を図るため、継続することが必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

芸術家の派遣先である事業所の入替や、新規事業者の参入を図るなど限られた経費の中でより効果的な事業を促進する。